

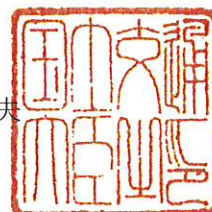
# 認定書

国住参建第 2329 号

令和 5 年 12 月 8 日

因幡電機産業株式会社  
代表取締役社長 喜多 肇一 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PS060WL-1254
2. 認定をした構造方法等の名称  
給水管・排水管／化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート・シーリング材充てん  
／壁準耐火構造／貫通部分
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 構造名：

給水管・排水管／化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート・シーリング材充てん／壁準耐火構造／貫通部分

## 2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ110mm以下)
	面積	0.00951m <sup>2</sup> 以下
配管と壁との隙間の寸法 (クリアランス)		3～10mm
占積率 (開口面積に対する配管の断面積の総合計の割合)		87.9%以下
貫通する壁の構造等		建築基準法施行令第112条第2項に掲げる基準に適合する壁構造(60分) 又は建築基準法第2条第七号の規定に基づく壁構造(60分) 厚さ 75mm以上

3. 構成材料の仕様 :

構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 構成材料の仕様

項目		仕様	
熱膨張性 シート		材料	化粧材付黒鉛含有ブチルゴムシート
		寸法	総厚さ：1mm以上 幅：50mm以上(埋設部50mm以上) ただし、裏面材は露出部側に10mm以下伸ばしてもよい
		使用箇所	1) さや管・架橋ポリエチレン2層管の場合：1周+10mm以上巻き付け 2) ポリエチレン管の場合：2周+10mm以上巻き付け
	表面材 (充てん材側)	材料	仕様：あり又はなし ①～③のー ①ポリオレフィン系繊維強化アルミニウム系テープ ②アルミニウム系テープ ③ガラス繊維強化アルミニウム系テープ
		厚さ	
	シート	材料	黒鉛含有ブチルゴムシート
		厚さ	1mm以上
		密度	
	裏面材 (配管側)	組成 (質量%)	
		材料	仕様：あり又はなし ①～③のー ①ポリオレフィン系ーポリエステル系積層フィルム ②ポリエステル系フィルム ③ナイロン系フィルム
充てん材	厚さ		
	材料	建築用シーリング材 (JIS A 5758) 種類：シリコーン系	
	充てん量	隙間に密に充てん(壁の両側に22mm以上)	

表3 配管の仕様

項目	仕様			
配管 (給水管・排水管)	さや管(合成樹脂製可とう管) 材質：ポリエチレン樹脂	外径	φ 42mm 以下	—
	架橋ポリエチレン2層管 (さや管に挿入できる)		φ 27mm 以下	3.25mm以下
	ポリエチレン管 (JIS K 6761、JIS K 6762、JIS K 6774、ISO4427、日本水道協会規格：JWWA K 144、建築設備用ポリエチレンパイプシステム研究会規格：PWA001、同：PWA005、配水用ポリエチレンパイプシステム協会規格：PTC K 03、給水用ポリエチレンパイプ協会規格：JP K 001、JP K 002、JP K 003)		φ 90mm 以下	8.2mm以下

4. 構造説明図：  
 構造説明図を図1～図3に示す。

単位 mm

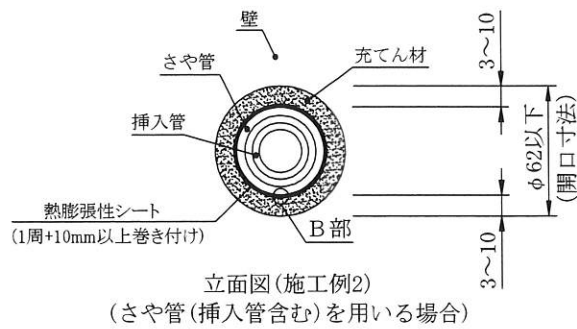
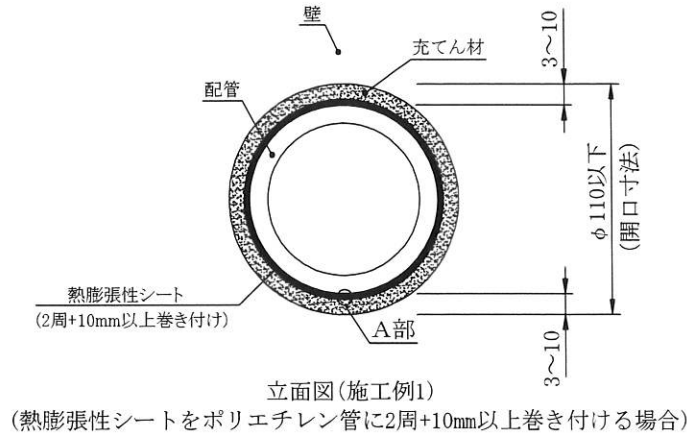
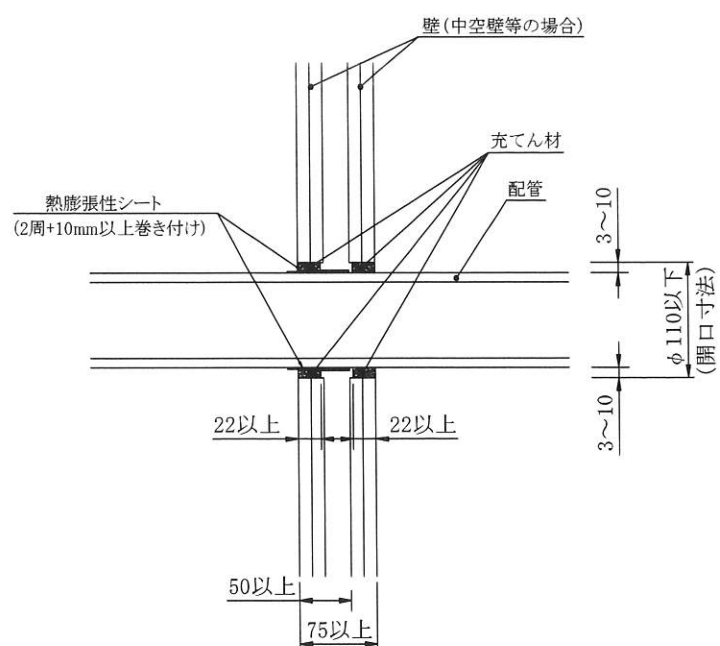
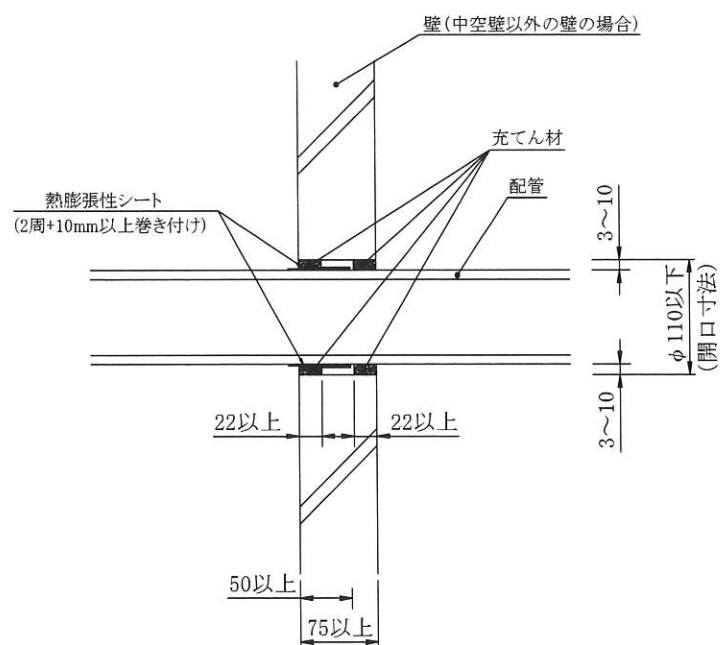


図1 構造説明図(施工図)

単位 mm



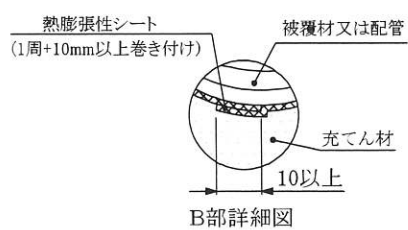
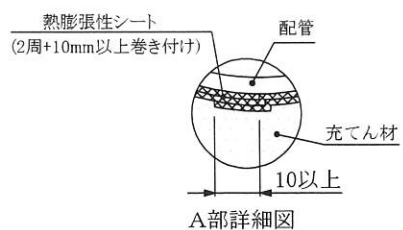
断面図(施工例1の場合)  
(熱膨張性シートをポリエチレン管に2周+10mm以上巻き付ける場合)



断面図(施工例1の場合)  
(熱膨張性シートをポリエチレン管に2周+10mm以上巻き付ける場合)

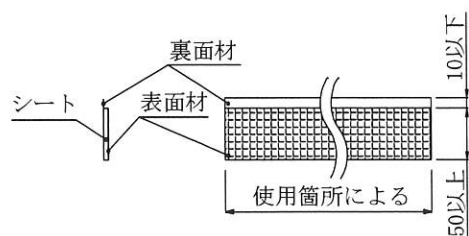
図2 構造説明図(施工図)

単位 mm



(さや管(挿入管含む)の場合)

熱膨張性シートの重なり代部詳細



熱膨張性シートの詳細図

図3 構造説明図(施工図)

5. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

(1) 貫通開口部の設定

ボイド管やコアドリル等を用いて貫通孔を設ける。

(2) 配管等の設置

配管等サイズ、本数及び占積率を考慮して貫通開口部に、配管等を設置して支持・固定する。

(3) 熱膨張性シートの巻き付け

熱膨張性シートを配管に対して、所定の巻き数+10mm以上巻き付け((ポリエチレン管の場合、2周+10mm以上巻き付け)又は(さや管・架橋ポリエチレン2層管の場合、1周+10mm以上巻き付け)て裏面材を破りシート部を張付けて固定する。この時、熱膨張性シートと配管との間に隙間がないように注意し確認する。

熱膨張性シートの長さが足りない場合は、隙間が生じないように熱膨張性シートを2枚繋げても良い。

(4) 熱膨張性シートのスライド

熱膨張性シートを配管に沿わせて熱膨張性シートが区画内に50mm以上入る(最大同一面まで)ようにスライドさせる。

(5) 埋め戻し

貫通開口部と熱膨張性シートの隙間に、壁厚方向22mm以上充てん材で埋め戻しする。

埋め戻し部に隙間が無いことを確認して仕上げる。